

芙蓉会病院キャリアサポートモデルプログラム

【キャリアサポートプログラム教育目標】

対象者の生活をケアすることができる看護師を育成する

【求める看護師像】

教育目標にある看護師となるためには、次に示すもののつながりを意識した幅広い視野をもつ看護師となる必要があります

✚ 探究心をもった看護師

探究心とは、物事を深く究明しようとする心のこと。知識を深めたり、原因の解明に当たったり、しつこく粘り強く追究する姿勢です。あらゆる場面で考える人・集団をめざします。

<キーワード>

精神保健医療福祉を含めた医療看護福祉の動向、トレンド、最新の知識と技術、精神科看護の専門性
考える力、自己研鑽

「人」を知る（対象者・対象者をとりまく人々・多職種）、地域を知る

✚ ストレングスの視点をもった看護師

ストレングスとはその人らしさ、強み。自分らしさ（その人の望む生活や自分自身のあり方）に向かっているという実感がリカバリーをもたらします。

<キーワード>

リカバリー、ストレングスモデル、医療モデル、多職種連携・協働、精神保健福祉法・権利・倫理
かかわる、寄り添う（思い、不安、揺れ）、考える力（一緒に）、伝える力、関係性の構築

「人」を知る（対象者・対象者をとりまく人々・多職種）、地域を知る

✚ 発展性と創造性をもった看護師

専門職として常に学び続ける必要があります。確かな、最新の知識と技術を背景に、創造性をプラスした看護実践がリカバリーにつながります。

<キーワード>

専門職、精神科看護の専門性、トレンド、「外」を知る、自己研鑽、能動的な姿勢
考える力、創造性、工夫、伝える力

「人」を知る（対象者・対象者をとりまく人々・多職種）、地域を知る

【プログラム】

	急性期 ～回復期	急性期 認知症治療	慢性期 (慢性重度、退院支援)	慢性期 (地域生活支援)
	精神科急性期治療病棟	認知症治療病棟	精神療養病棟	外来・訪問看護 デイケア 障害福祉サービス事業所
期 間	3年	1年	1～2年	1年
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ✚ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて理解し、その構築において精神科病院の役割を理解する ✚ 青森圏域・下北圏域における急性期病院として、また県全体における位置づけとしての所属病院・所属部署の特徴・役割、看護体制、看護のあり方等を理解する ✚ 多職種・他機関連携の必要性を理解する ✚ 関係性を構築することの意味、ストレングスモデルについて理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ✚ 所属部署の特徴・役割、看護体制、看護のあり方等を理解する ✚ 多職種・他機関連携の必要性を理解する ✚ 認知症における BPSD について理解を深め、対応技術を身に着ける 	<ul style="list-style-type: none"> ✚ 所属部署の特徴・役割、看護体制、看護のあり方等を理解する ✚ 多職種・他機関連携の必要性を理解する ✚ ストレングスモデルの実践について理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ✚ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築において外来・訪問看護・障害福祉サービスの役割を理解する ✚ 所属部署の特徴・役割を理解する ✚ リカバリーとは何か、ストレングスモデルの実践について理解を深める ✚ 継続看護について学び、病院・地域双方に求められる看護のあり方について理解する

到達目標	<p>(レベルⅠ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門職としての知識・技術・態度を身につけることができる 他者に相談しながら、所属している部署に特徴的な知識や技術を主体的に学習できる 社会人として、病院組織の一員であることを理解し、職場のメンバーとしての役割を全うできる <p>(レベルⅡ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 根拠をもって判断した看護実践ができる 対象者の希望を踏まえた看護計画に基づいて、自立した看護を実践できる 疾患や治療の理解を深め、看護に活かせるよう主体的に学習できる <p>(専門性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者に関心を向け、相手の思いを察知し、工夫しながら関係性をつくること 医療モデル(問題解決型モデル)、ストレングスモデル、セルフケアモデルについて理解し、セルフケア不足の要因をBPSの視点をもち考えることができる 3つのモデルを駆使して看護実践ができる(3年目) 	<p>(レベルⅡ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 根拠をもって判断した看護実践ができる 対象者の希望を踏まえた看護計画に基づいて、自立した看護を実践できる 疾患や治療の理解を深め、看護に活かせるよう主体的に学習できる <p>(専門性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者と対象者を取りまく人々に関心を示し、受容的、支持的な態度でかかわり、信頼してもらえる関係をつくること セルフケア不足の要因をBPSの視点をもち考え、医療モデル(問題解決型モデル)、ストレングスモデル、セルフケアモデルを駆使しながら看護実践ができる 認知症原因疾患別の特徴をふまえ、カンフォードダブルケアやユマニチュードといった技術をもちいケアすることができる 	<p>(レベルⅢ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者の個別性を理解し、状況に応じた看護を実践できる 自身の課題を克服しようと取り組みつつ、強み、弱みを意識して、自身の持ち味を活かした看護ができる 看護実践におけるモデルとなり、メンバーに対して教育的なかかわりができる 部署の目標達成に取り組むことができる <p>(専門性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者と対象者を取りまく人々に関心を示し、受容的、支持的な態度でかかわり、信頼してもらえる関係をつくること セルフケア不足の要因をBPSの視点をもち考え、医療モデル(問題解決型モデル)、ストレングスモデル、セルフケアモデルを駆使しながら看護実践ができる 退院支援に必要なアセスメント、地域生活を支える社会資源、継続看護、看看連携、多職種・他機関連携、地域移行支援等について理解と実践ができる 	<p>(レベルⅢ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者の個別性を理解し、状況に応じた看護を実践できる 自身の課題を克服しようと取り組みつつ、強み、弱みを意識して、自身の持ち味を活かした看護ができる 看護実践におけるモデルとなり、メンバーに対して教育的なかかわりができる 部署の目標達成に取り組むことができる <p>(専門性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者と対象者を取りまく人々に関心を示し、受容的、支持的な態度でかかわり、信頼してもらえる関係をつくること セルフケア不足の要因をBPSの視点をもち考え、医療モデル(問題解決型モデル)、ストレングスモデル、セルフケアモデルを駆使しながら看護実践ができる 退院支援に必要なアセスメント、地域生活を支える社会資源、継続看護、看看連携、多職種・他機関連携、地域移行支援、地域定着支援等について理解と実践ができる
方法	<ul style="list-style-type: none"> ラダーに則った新人教育 院内外研修参加 受け持ち看護師として看護過程を展開する(入院から3か月以内での退院支援) チームに所属しメンバーとして看護実践をする 退院前訪問指導を行う 多職種カンファレンスで自身のケース検討を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ラダーに則った教育 院内外研修参加 受け持ち看護師として看護過程を展開する チームに所属しメンバーとして看護実践をする 多職種カンファレンスで自身のケース検討を行い対象者のQOLを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ラダーに則った教育 院内外研修参加 受け持ち看護師として看護過程を展開する チームに所属しメンバーとして看護実践する 多職種カンファレンスやケア会議で自身のケース検討を行い対象者のリカバリーを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ラダーに則った教育 院内外研修参加 外来、精神科訪問看護、精神デイケア、自立訓練事業所、地域活動支援センター(相談支援事業所)、就労継続支援事業所等で支援を経験する 地域支援の立場として病院内の退院支援を経験する
評価	<ul style="list-style-type: none"> チェックリスト クリニカルラダー 評価会・認定委員会 目標管理 	<ul style="list-style-type: none"> チェックリスト クリニカルラダー 評価会・認定委員会 目標管理 	<ul style="list-style-type: none"> チェックリスト クリニカルラダー 評価会・認定委員会 目標管理 	<ul style="list-style-type: none"> チェックリスト クリニカルラダー 評価会・認定委員会 目標管理
備考				